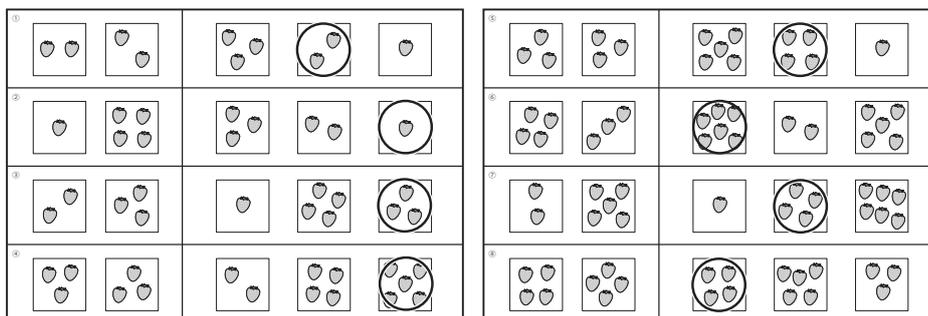


〈解答〉 下図参照



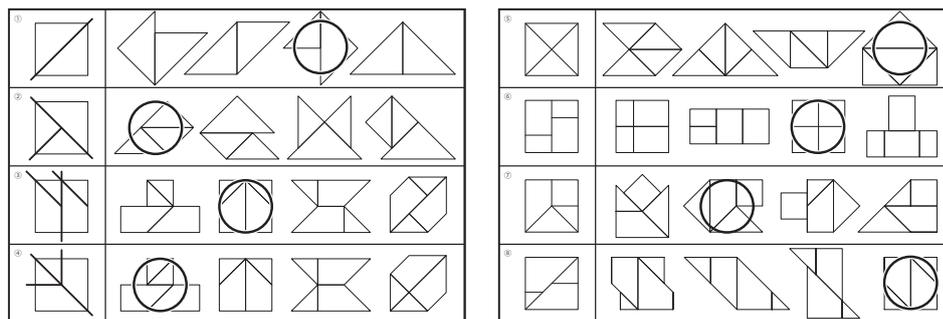
本年度はA・Bのグループで数量の問題も出題されました。今年に限ったことかもしれませんが、当校としては久々の新傾向なので準備は怠りなく進めておきましょう。内容としてはそれほど難しい問題ではないので、図形問題と同様にケアレスミスに注意しながら、スピードを意識しつつも慎重に答えていく、ということになります。また、問題文の理解も含めて「慣れ」が結果に反映されるのが数量分野の問題です。お子さまに生活の場面でも数を意識させるようにしてください。

【おすすめ問題集】

★筑波大附属小学校数量攻略問題集①★（7月発行予定）

Jr・ウォッチャー14「数える」、41「数の構成」

〈解答〉 下図参照



Aグループの女子も男子と同様に図形の構成の問題です。問題の取り組み方は男子と同様に、ケアレスミスに注意しながら一定のスピードで解く、ということになります。前提として、図形の基本的な性質、特徴を知っていないと、どうしても答えるのが遅くなってしまいますので、必要な知識は頭に入れておきましょう。例えば「同じ三角形を2つ組み合わせる四角形になる」といったことは知っていないと答えられない、ということです。

【おすすめ問題集】

★筑波大附属小学校図形攻略問題集①②★（書店では販売していません）

Jr・ウォッチャー9「合成」、54「図形の構成」